

令和5年度八丈町立大賀郷小学校 授業改善プラン 第2学年

	教科における課題 (□)	身に付けさせたい力 (・)	課題を解決するための取組(○) 授業改善策(☆)
国語	<input type="checkbox"/> コミュニケーション能力の育成 <input type="checkbox"/> 読む力の伸長 <input type="checkbox"/> 文章表現力の育成 <input type="checkbox"/> 漢字の定着	・話す力、聞く力 ・音読する力 ・文章を書く力 ・漢字を正しく覚え、活用する力	○正しい姿勢を教え、話をしている人の方を見て最後まで聞き、内容のたいを理解できるようにする。 ☆小集団での話合いを頻繁に計画し、友達の話は最後まで聞く力を身に付けさせる。 ○どの教科においても、声に出して読む時間を設ける。 ○家庭と協力し、音読の宿題を日常の課題とする。 ☆練習問題の音読を行う。 ☆図書、朝読書、読み聞かせを継続し、本が好きになるように親しませる。 ○文の基本的な書き方を定着させる。文を書くことに親しませ、書くことへの抵抗感をなくす。 ☆時の流れによる順序を意識させ、順序に沿って短文を作成させ、それを合わせて作文にする活動を行う。 ○ドリル→漢字ノート→小テストのサイクルで反復練習に取り組ませる。(単元ごと) ☆大賀郷タイムを活用し、確認テストを行う。 ☆授業の始めに、新出漢字を2文字ずつ習得し、継続して学ぶ姿勢を身に付けさせる。
生活	<input type="checkbox"/> 興味関心を高める <input type="checkbox"/> 体験活動の充実 <input type="checkbox"/> 生活力の育成	・関心、意欲 ・体験活動を通じた気付き ・生活力(道具を使う力や観察力など)	○身近な自然、地域、人の様子などに関心をもち、すすんで活動できるようにする。 ☆地域の自然や関係する団体等に協力をいただき、体験的な学習を取り入れ、日常生活に結び付ける。 ○授業のめあての意識付けを行う。 ☆体験活動のまとめの場を設定し、めあてが意識できていたかを確認する。 ○工作活動の機会を増やす。 ☆はさみ、のり、クレヨン等の道具に触れる機会を設け、手作業に慣れさせる。 ○気付いたことや発見したことをまとめ、発表する機会を設ける。 ☆触覚、視覚、嗅覚、聴覚を用いた観察を行わせる。
算数	<input type="checkbox"/> 数の概念の定着 <input type="checkbox"/> 算数的活動の充実 <input type="checkbox"/> 基礎・基本の定着	・数を理解する力 ・問題を読み取り、自分で解決する力 ・計算力	○数ブロックや数カードを活用する。 ☆具体物进行操作する活動や数える活動、生活に応用できる活動を多く設定する。 ☆教員が文章問題を繰り返し読むことや簡単な絵に表すことで、問題の読み取りを支援する。 ○単元ごとに習熟の時間をとる。 ☆チーム・ティーチングや少人数指導を行う。 ○大賀郷タイムなどで計算の時間を設定する。 ☆単元で学習した新しい技能や知識を定着させるために、プリントやドリルを反復して行う。 ☆二桁の加法・減法、かけ算九九を中心に反復する。

			☆かけ算九九カードなどを活用する。
図工	<input type="checkbox"/> 表現活動の充実 <input type="checkbox"/> 基礎的な知識・技能の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・発想を広げ、表現する力 ・クレヨン、水彩絵の具などの道具の使い方 	<ul style="list-style-type: none"> ○導入で自由な発想を得られるように、提示の仕方を工夫する。 ☆自由に発想をし、ふくらませるような雰囲気作りをする。 ○いろいろな表現方法が体験できるように指導計画を見直す。 ☆児童のつぶやきを大事にした机間指導を行う。 ☆教科書や掲示資料を提示し、のりやはさみ、カッター、絵の具などの使い方を指導する。 ○クレヨンや水彩絵の具の基本的な使い方を身に付けられるようにする。 ☆1学期中にクレヨンでのスクラッチや絵の具での色水作りを行えるようにする。 ☆2学期以降は水彩絵の具を使う活動を通して、水の量の調整の仕方などを身に付けられるようにする。
音楽	<input type="checkbox"/> 学習に取り組む集中力の向上 <input type="checkbox"/> 基礎基本の学力	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい音程で歌う力 ・美しい音色で演奏する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○常時活動を内容を充実させる。 ☆歌唱やリズムあそびを常時活動として取り入れ、正しい音程感を身に付けさせる。 ☆体を動かす活動を取り入れ、音楽を体全体で感じ取れるようにする。 ○音色に注目させる活動を行う。 ☆互いの歌声を聴き合ったり、様々な楽器の演奏方法を試したりする活動を通して、音色への関心をもたせる。
体育	<input type="checkbox"/> 意欲的に取り組む態度の育成 <input type="checkbox"/> 技能・体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてに向かって運動する力 ・走る力・跳ぶ力・投げの力を中心とした体力 	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しく運動するためには、安全であることや、協力することが必要なことを理解させる。 ☆みんなで規則を考えることで、規則を理解し、規則を守って安全に運動しようとする態度を育成する。 ○運動量が増えるよう、学習計画を立てる。 ☆各授業のルーティーンを作り、無駄なく運動が行われるような授業づくりを行う。 ○発達段階に応じた動きを身に付けるようにする。 ☆易しい多様な動きを経験させる。 ☆安心して(恐怖感を覚えないような)扱える教具を使用し、運動への取組を促進する。